

小学校算数 第4・5・6学年

各学年共通した課題		図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見いだしたりすること	
学年	設問	設問のねらいと問題の概要	正答率(%)
4	大問 10 ㉓	○ ひし形の2本の対角線で分けてできる4つの三角形についての知識及び技能	27.4
5	大問 16 ㉓	○ 合同な三角形についての知識及び技能	50.5
6	大問 11 ㉗	○ 円柱とその展開図についての知識及び技能	52.1

— 復習のポイント — 小学校第4・5・6学年のみなさんへ

図形の学習では、実際に図形をかいてみたり、作ってみたりしながら、図形の見方を豊かにしていくことが大切です。定規やコンパス、分度器を使って正確に図形をかく、実際に立体の展開図をかいたり、組み立てたりするなどの経験を積み重ねていきましょう。

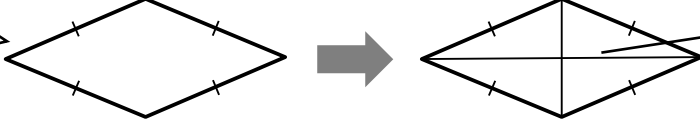
第4学年の問題から

【問題】 どんなひし形でも、2本の対角線を引くと同じ形の4つの三角形ができます。できる三角形は、何という三角形か答えなさい。

【ポイント】 言葉の意味を考えながら、問題に当てはまる図形をかくこと

「ひし形」…辺の長さがすべて等しい四角形 「対角線」…向かい合った頂点を結んだ直線

ひし形だと分かるように、極たんにかくのがコツです。



どんな三角形ですか。

① ひし形をかく。 ② ①に2本の対角線を加える

第5学年の問題から

【問題】 下の図のような三角形があります。この三角形と合同な三角形をかくにはどこの辺の長さや角の大きさがわかればよいでしょうか。正しい組み合わせを下のアからエまでの中から全て選び、記号で答えなさい。(図、選択肢は省略)

【ポイント】 三角形が合同になる条件を覚えること

3つの辺の長さ、3つの角の大きさをすべて測らなくても、次の①、②、③のどれかを使えば、合同な三角形がかけます。

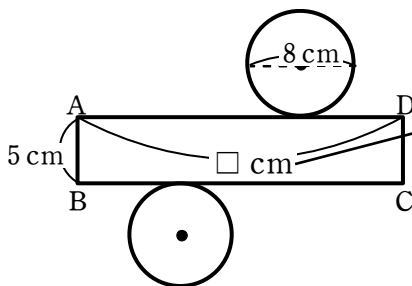
- ① 3つの辺の長さ ② 2つの辺の長さとその間の角の大きさ ③ 1つの辺の長さとその両はしの角の大きさ



第6学年の問題から

【問題】 下の図のように、円柱の展開図があります。展開図の辺ADの長さを求める式を書きなさい。ただし、円周率は3.14とし、実際に長さを求める必要はありません。(問題の必要部分を抜粋)

【ポイント】 円柱の展開図では、側面の形は長方形であり、その横の長さは、底面の円周の長さと同じになると考えること



円の直径が分かれば、辺ADの長さを決められます。辺ADの長さを求める式は、 8×3.14 となり、円周の長さを求める式と同じです。